委員会等の会議録

1 会議名	第1回愛南町食育推進協議会	
2 議題	(1) 正副会長の選任 (2) 令和5年度の活動状況及び令和6年度活動内容について (3) 第3次愛南町食育推進計画の評価について (4) 第4次愛南町食育推進計画の方向性について (5) その他	
3 開催日時	令和6年7月31日(水) 13時30分から15時50分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁 3階 大会議室	
5 傍聴者数	1人	
出席者		
6 委員氏名	若林 良和、岡本 威明、間々田 理彦、影山 康彦、 蓮本 由美子、小林 絹代、武久 時子、森岡 知昭、 片山 新也、湯浅 良彦、森岡 眞由美、田中 俊行、 谷口 さとみ、尾崎 千代子、竹田 英則、高橋 伸吉、 坂尾 良美、木原 荘二、濱見 陽計	
7 担当所属	所属名	保健福祉課
	担当職員 (職・氏名)	課長 中川 菊子 課長補佐 好岡 美智子 課長補佐 荒地 ミドリ
8 その他の 出席職員	所属名	保健福祉課、学校教育課、農林課
	出席職員 (役職・氏名)	健康部会 会長 清家 陽菜 教育部会 会長 山川 富美夫 産業部会 会長 鶴川 知也
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
中川課長	<p>定刻になりましたので、ただ今から令和6年度第1回愛南町食育推進協議会を開催します。開会に当たり、愛南町副町長木原莊二が御挨拶申し上げます。</p>
木原副町長	<p>(開会挨拶)</p>
中川課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この協議会の協議内容については、事業の内容を多くの方々に理解していただくため、ホームページで会議録を公開しています。会議の内容を録音しますので、御了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、委員の皆様には、令和6年度から2か年の任期で御参画いただきます。お手元の名簿を御覧いただき、若林委員から反時計回りに所属とお名前をお願いします。</p> <p>録音の関係上、発言の際はマイクのスイッチを入れて御発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは若林委員、よろしく申し上げます。</p>
各委員	<p>(自己紹介)</p>
中川課長	<p>ありがとうございました。皆様どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、協議事項1、新たな任期に入りましたので、正副会長の選任をしていただきます。立候補又は推薦していただける方がいらっしゃいましたらお願いします。</p>
若林委員	<p>この食育推進協議会についても、食育協働部会についても、地元の方にとずっとお願いしてきました。これまでは、浅海先生にしていたいていました。今回は、これまでが保健部会でしたので、産業部会で事務局等といろいろ相談しました。先ほど自己紹介された片山先生が、今回食育推進指定校ということで、2年間お世話になるのですが、健康、教育、産業とバランスを取るといことで、会長に関しては、是非片山委員にお願いできればと思います。</p> <p>副会長については、やはり行政できちんとフォローしていただくために、これまでどおり、木原副町長にお願いしたいと思っております。</p> <p>以上、推薦申し上げます。御審議よろしく申し上げます。</p>

<p>中川課長</p>	<p>ただ今、会長に片山委員、副会長に木原委員との推薦がありました。いかがでしょうか。</p>
<p>全委員</p>	<p>(参同)</p>
<p>中川課長</p>	<p>ありがとうございます。 皆様から御賛同いただきましたので、お二方お願いできますでしょうか。よろしく申し上げます。 それでは、会長を片山新也委員に副会長を木原荘二委員にお願いすることに決定します。 それでは、これからの協議は会長に進めていただきます。 会長副会長は席の移動をお願いします。</p>
<p>片山会長</p>	<p>それでは、早速ですが、議事に入ります。 (2)令和5年度の活動状況及び令和6年度の活動内容について協議します。 実践部隊であります食育協働部会が様々な活動を実施していますので、主な取組について抜粋して説明します。これらについての御意見、御質問に関しては、全ての説明が終わった後に受け付けます。 まずは令和5年度の取組について、健康部会から説明をお願いします。</p>
<p>清家健康部会長</p>	<p>健康部会から令和5年度の主な取組について説明します。 (つづける食育) 健康づくり教室では、建設業協会、愛南警察署の働き盛り世代に向けて、メタボリックシンドロームの対策や、高血圧などの情報提供を行いました。 (カミカミ食育) 高齢者サロンで、言語聴覚士から、口腔ケア、口腔機能向上についての講話や嚥下外来の紹介を行いました。 訪問介護、栄養士、看護師、一般住民を対象に、保健福祉課、包括支援センター、県立病院看護師が連携して、「やわらか介護食 むせない工夫」の教室を行いました。 (はぐくむ食育) 食生活改善推進員の委託事業として、緑小学校で親子の食育教室を実施しました。愛南町産のさつまいともち米を使い、はが</p>

<p>片山会長</p>	<p>ま餅を作りました。 (つながる食育) マラニック、トライアスロンの参加者に、愛南町の郷土料理である冷や汁を提供しました。</p> <p>ありがとうございました。 続いて、教育部会の説明をお願いします。</p>
<p>山川教育部会長</p>	<p>学校等の取組が多いため、大まかな内容の説明となります。 令和5年5月8日に、新型コロナウイルスが5類感染症に移行した関係で、学校行事等が通常に戻り、たくさんの方々との関わり合いが持てるようになりました。取組自体は、例年どおりの目標を立てて実践しています。どの学校も、取組を充実させたものとなっています。</p> <p>特に平城小学校では、教育委員会の指定を受けて、研究主題を「自ら考え、よりよい食生活を目指そうとする児童の育成」とし、2年間にわたって食育推進事業に取り組んでいただきました。</p> <p>日々の教育活動の中での指導、啓発はもちろんですが、専門的な知識・技能を持つ外部講師や地域の方々、保護者との連携を図ることで、児童が食についての知識や技能を身に付け、食に関する興味や関心を高めることができました。</p> <p>そのほかの保育所、小学校においても、様々な方の協力を得て、体験型教育活動を実践しています。中学校では生活習慣病予防教室を実施するなど、年代に応じた活動を実践しています。</p> <p>学校給食においても、献立の工夫や給食だよりの発行、食育の学習会等を実施しています。</p> <p>学校内だけでなく、関係機関と連携した活動を進めていきます。</p>
<p>片山会長</p>	<p>ありがとうございました。続いて、産業部会の説明をお願いします。</p>
<p>鶴川産業部会長</p>	<p>令和5年度に16の取組を行う計画としており、全ての重点取組を実施することができました。 (いただきます食育) ぎょしょく教育について、ぎょしょくサイトのリニューアルやSNSの活用により、広くPRしました。</p>

<p>片山会長</p>	<p>(つながる食育) 6月実施のトライアスロン大会のアワードパーティーや、8月実施の愛南マラニックの各エイドステーションにて、愛南町の特産品を使った料理を提供し、本町の特産品をPRしました。 (ひろがる食育) 令和5年5月7日に開催された丹波篠山感謝祭で、愛南ゴールドの販売を実施しました。学校給食でも、愛南町の特産品を提供してもらいました。</p>
<p>好岡課長補佐</p>	<p>それでは次に、その他の取組について説明をお願いします。</p> <p>第13回食育推進大会を、令和6年1月28日に平城小学校で開催し、成果発表や食育劇、太田講師による講演を行いました。 南宇和高校や各部会の取組を広報誌に掲載し、広く住民に周知しました。 令和4年度から作成した食育レシピ集～郷土料理編～を完成させました。</p>
<p>片山会長</p>	<p>ここからは、令和6年度の取組について、健康部会から説明をお願いします。</p>
<p>清家健康部会長</p>	<p>(つづける食育) 「早寝・早起き・朝ごはん」の普及啓発をします。朝食を食べる人が増えている一方、朝食を食べない人も一定数います。今後も様々な機会を活用して、朝食の大切さ等の啓発活動に力を入れて取り組みたいと考えています。 (いただきます食育) 広報あいなん等を活用し、食に関する情報、食品表示や防災食等を発信します。 食品ロスの削減について普及啓発を行います。購入時の手前取りを周知して浸透させていくことも良いのではないかとこの案があり、各教室等で周知していこうと考えています。 (カミカミ食育) 愛南はつらつ口腔体操の普及啓発を行うため、愛南町のホームページをリニューアルしました。 かんで食べる効果について情報を提供し、治療等が必要な方は関係機関につなげていきます。広報等を活用して、かむことの効果やカミカミレシピの情報提供を行う予定です。</p>

片山会長	<p>続いて、教育部会の説明をお願いします</p>
山川教育部会長	<p>資料の 35 ページから 54 ページまでに今年度の活動がありますが、教育部会での活動、取組が非常に多いので、簡単に説明します。実施する内容については大きな変更はありません。どの活動も重要なことですし、必要なことですので継続して取り組んでまいります。</p> <p>これらの活動を進めていく中で教育部会としては、幼稚園、保育所、小中学校それぞれにおいて、子供たちの心身の健やかな成長を育むこと、また、ふるさと愛南の良さを感じさせることといった目標を達成させるために、学校における食育の視点があります。六つの観点、①食事の重要性、②心身の健康、③食品を選択する能力、④感謝の心、⑤社会性、⑥食文化、これらは全て、愛南町の食育推進計画の基本方針につながるものだと思いますので、これらを基本としつつ、様々な社会状況に応じた多角的な視点を持って実践していきたいと考えています。そして、学校での学びや取組を、各種便りやホームページ、ケーブルテレビなどを通じて、できる限り家庭や地域に発信できればと思っています。</p> <p>先ほど説明がありましたが、学校指定の食育の取組として、2年間、一本松小学校に受けていただいています。</p>
片山会長	<p>続いて、産業部会の説明をお願いします。</p>
鶴川産業部会長	<p>(いただきます食育)</p> <p>市場や漁業の見学、ぎょしょく出前講座等、ぎょしょく普及推進事業を実施し、ぎょしょく教育により水産物への知識を深め、水産業の関心を高めることにより、食への感謝の気持ちを高めます。これまで行ってきたぎょしょく普及推進の活動が、令和6年度で20周年を迎えます。これまでの取組と併せて、20周年記念事業を実施することで、これまで以上にぎょしょく発祥の地愛南町を盛り上げていく予定です。</p> <p>(つながる食育)</p> <p>農林水産業で働いている人との交流や食の体験を通じて、地域の絆を深めます。町内の小学校でインターネットを活用した遠隔学習会を開催し、生産者と直接コミュニケーションを取って、現場についての学習を行います。子供たちに農業に対する知</p>

	<p>識を深めてもらい、インターネット通信を活用して現地や作業場の様子を伝えることで、更に地場産物について興味や関心を持つよう働きかけます。</p> <p>イベント等で愛南町産の特産品をPRします。トライアスロン大会のアワードパーティや、愛南マラニックの各エイドステーションにおいて、愛南町産の特産品を使った料理を提供し、町内外に愛南町の食の魅力をPRしていきます。</p>
片山会長	次に、その他の取組について説明をお願いします。
好岡課長補佐	<p>第14回食育推進大会を、12月21日土曜日に御荘文化センターで、愛南町出身の宇佐亮子氏をお招きして開催する予定です。</p> <p>今年度も南宇和高校農業科、各部会に御協力いただき、広報あいなんに食に関する情報や取組を掲載し、広く周知していきます。</p> <p>今年度は、第3次食育推進計画の最終年度です。計画に沿って食育を推進していきながら、第4次計画を策定しますので、御協力をお願いします。</p>
片山会長	<p>全説明が終わりました。アドバイザーの委員から、それぞれの取組や成果に関する補足や御意見等がありましたらお願いします。</p> <p>事務局は、本日欠席されています田中委員からのコメント等がありましたらお願いします</p>
好岡課長補佐	<p>田中委員からのコメントを紹介します。</p> <p>日本において、栄養の二極化が問題となっていますが、低栄養予防や、メタボ予防の取組をしていただき、ありがとうございます。</p> <p>この夏は、ラニーニャ現象が原因で猛暑が予想され、観測史上最高の暑さとなると言われています。暑くなると増えるのが、飲酒量とお風呂上りのアイスクリームの摂取量で、これにより、中性脂肪の上昇があります。</p> <p>熱中症予防として、糖分が入った清涼飲料水、スポーツドリンクなどを連日大量に飲み続けることによって発症するペットボトル症候群の増加も懸念されます。お酒の適正摂取と、水分補給は水かお茶など糖質ゼロの飲み物を選ぶよう指導をお願いします。</p>

	<p>スポーツ庁の体力運動能力調査において、毎日朝食を食べると答えた小学校5年生の男子が、全国最低の77.7%だというデータに基づき、これまで、健康分野や教育分野で徹底した取組を実施していただいたことに感謝申し上げます。いずれも結果に結び付くことと期待しています。</p> <p>カミカミ食育では、フレイル予防に大切なポイントである栄養・体力・社会参加、口腔の3プラス1で、食べて動いて人とつながるといった効果的なライフスタイルの中、社会参加と口腔を兼ねたサロンが実施されています。継続実施をお願いします。</p> <p>いただきます食育では、各ライフステージに合わせた大切な取組を実施していただいていますので、引き続き動画などを用いた、興味の持てる食育の実施をお願いします</p>
片山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、教育部会の岡本委員、お願いします。</p>
岡本委員	<p>教育部会ですが、令和5年度の取組が予定どおり、ほぼ全ての計画が実施できて良かったと思っています。</p> <p>また、令和6年度も継続していくということで、非常に良いと思っています。ただ、教育現場でいろいろな活動をするのは良いのですが、その取組、食育の重要性や、何を伝えたいかといったものが、生徒たちにしっかりと伝わっているかどうかは、いろいろな方法を取りながら、随時検証した方が良いのではないかと思います。</p> <p>私も、大学で調理実習を担当していますので、そのノウハウを生かして、今年度は城辺中学校など、愛南の小中学校に出向いて、私自身もいろいろ授業をしてみたいと思っています。</p> <p>引き続き大学と皆さんと連携を取りながら、次の第4次愛南町食育推進計画を無事達成できるようにしたいと思います。</p>
片山会長	<p>ありがとうございました。続いて、産業部会の間々田委員、お願いします。</p>
間々田委員	<p>新型コロナが第5類に移行して、人と交流でき始めたというところで、今後、産業として食育が生かせられれば良いのかなと思います。継続性というものは非常に重要なところとしてありつつ、第4次食育推進計画に向かって、今後は愛南の特産品の一</p>

	<p>つである河内晩柑等の取組を含めて、更に農業分野の展開を図っていければ良いのかなと考えています。</p>
<p>片山会長</p>	<p>ありがとうございました。 それでは続いて、若林委員、全体について補足や御意見を願います。</p>
<p>若林委員</p>	<p>各部会の部会長は、本来の業務がある中御苦労様です。昨年度もきっちりと事業をしていただき、今年度も第4次計画に向けて、各部会で積極的に事業を展開していただくようお願いします。</p> <p>資料32ページに、「これからも一緒に食育を継続しましょう」とありますが、継続ということが一番大事だと考えます。旧一本松地区の事業やぎょしょくの話等、愛南町には、継続の根幹がきちんとあります。</p> <p>さらに、本日報告してもらった様々な取組が食育事業の原点だと思います。そして、それを継続していく受皿や基盤になるのがこの推進会議や、協働部会だと思います。この両輪できちんと回しているというところで、これまでの15年と、これからも継続していくことが大切だと思います。</p> <p>これからも、愛南町らしい食育を継続していけるように、皆さんと一緒にしていけたらと思います。</p>
<p>片山会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。 それでは、取組についての御意見、御質問などないでしょうか。</p>
<p>湯浅委員</p>	<p>教育部会は、ライフステージに応じてたくさんの事業に取り組まれているということで、子供たちの食に関する学びをとて深めていただいていると感じました。やはり、先ほどから言われるように継続が大切だと思いますし、先生が言われるように、それがしっかりと子供たちや家庭で実践できるかということも、重要だと思いますので、どこかで確認できれば良いかなと思います。</p> <p>昨年、平城小学校で行われた食育推進大会に、私も少し参加させていただきましたのですが、学校、地域、家庭が連携して取り組んでいる様子が見えて感動しました。広く深く取り組まれていることも分かりました。是非、今後も継続していただきたいと思</p>

<p>片山会長</p>	<p>ますが、学校の負担も大きいのではないかと感じますので、普段していることをクローズアップして、工夫していただけたらと思います。</p> <p>後、41 ページの令和6年度取組のところで、健康部会の食品ロスの削減について普及啓発を行うというところですが、手前取りについての普及啓発というところで、「てまえ鳥」のようなキャラクターやロゴが、スーパーにあっても面白いのかなと思いました。</p> <p>ありがとうございました。ほかに御意見、御質問はないでしょうか。</p> <p>それでは今の御意見、御提案を一本松小学校始め各部会委員にも共有し、協働部会での活動につなげたいと思います。</p> <p>続きまして、(3)第3次食育推進計画の評価について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>好岡課長補佐</p>	<p>第3次愛南町食育推進計画の評価について説明します。</p> <p>始めに、資料の訂正をお願いします。資料64ページ、指標(13)の町内産の使用割合の評価については、目標を達成していますので、BからAに変更をお願いします。</p> <p>資料63ページを御覧ください。あわせて、資料1が評価指標の詳細で、指標の番号を合わせていますので、一緒に見てください。</p> <p>第3次食育推進計画では、重点目標を三つ(基本方針6、評価指標16)定め、その達成を目指して関係機関と連携、協力して食育の推進に取り組んできました。新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、評価指標の達成状況は、目標に達成した指標が2指標、現状維持の指標が10指標あり、成果があった取組もあると考えられます。今後は、目標の達成を目指し、計画の見直しが必要です。</p> <p>達成した評価指標は、次のとおりです。</p> <p>(1)「食育」に関心がある人の割合 (7)適正体重を知っている人の割合 以上です。</p> <p>維持できている評価指標で、前回調査を上回った指標は、次のとおりです。</p> <p>(6)内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善の実践をしている人の割合</p>

(8)よくかんで食事をしている人の割合

(9)食事の時に、挨拶を必ずする人の割合

(10)食べ残した時、とてももったいないと思う人の割合

指標(9)(10)の結果は、継続して食育に取り組んできた成果であり、この成果を維持していくために、今後も継続して取り組む必要があります、幼児期、学童期から「感謝の気持ち」や「食の大切さ(食品ロス)」について継続して啓発する必要があります。

(12)「地産地消」の言葉や意味を知っている人の割合は、前回調査を上回っています。

(13)学校給食で地場産物を使用する割合

以上です。

維持できている評価指標で、前回調査を下回った指標は、次のとおりです。

(2)朝食を誰かと食べる人の割合

(3)毎日、朝食を食べている人の割合

(4)バランスの良い食事を取っている人の割合は、朝食、夕食共に前回調査を下回っています。朝食では、中学生を除くどの世代も前回調査と比べて低くなっています。特に幼保・小学校低学年が最も低く、11.9%でした。夕食では、中学生、高校生、保護者で前回調査を上回っており、特に高校生では、10.2ポイント増加しています。朝食のクロス集計を見ると、「家族全員で食べる人」は、「誰かと一緒に食べる人、ひとりで食べる人」に比べて、「主食、主菜、副菜」の組み合わせで食事を取っている人の割合が高かったです。

(15)魚を好む人の割合

以上です。

悪化した評価指標は、次のとおりです。

(5)食生活で野菜の量に気を付けている人の割合

世代別の気を付けていることのグラフを見ると、食事のバランス、薄味に気を付けている人の割合も低下していますが、外食や総菜などの中食を利用する人の増加も関係しているのではないかと考えます。

食事のバランスや薄味、野菜の必要量について、併せて啓発していくことや、外食や中食を利用するときに選ぶ力を身に付ける取組を行うことが必要だと考えられます。

目標値を設定していない評価指標は、次のとおりです。

(11)食品ロスの削減に取り組んでいる人の割合

(14)愛南町産を意識して購入している人の割合

	<p>指標(12)(13)(14)は、関連するところがあるので、相乗効果を狙った取組が効果的だと考えられます。今後も、継続して地産地消の推進に向け、普及啓発を進めていくことが必要です。</p> <p>(16)ぎょしょく教育の事業に参加した人の割合以上です。</p> <p>続いて、資料2を御覧ください。評価指標以外の現状について説明します。</p> <p>「食育」という言葉や意味を知っている人の割合は、全ての年代で前回調査を下回っています。</p> <p>できるだけ食べ物を残さないようにしている人の割合は、前回調査を上回っています。特に高校生では、「全く残さない」の割合が7.1ポイント増加しています。</p> <p>食べ物を残した時、とてももったいないと思う人の割合も、学童期で増加しており、食育の成果が表れていると考えられます。</p> <p>愛南食育ソング「いただきます」を知っている人の割合は、前回調査より5.9ポイント減少しています。中学生、高校生、保護者では増加しており、幼児期からの継続した周知が必要です。</p> <p>将来、農業や水産業の仕事をしてみたいと思う人の割合は、前回調査を下回っています。年齢が上がるにつれて、割合が低くなっており、体験型の食育で仕事への理解を深めることが必要です。</p> <p>愛南町産の物を買わない理由に「よく利用する店で売っていない」、「欲しい時に愛南町産の物が無い」、「愛南町産かどうか分からない」と回答している人がいます。愛南町産である表示の工夫や周知方法の検討が必要ではないかと考えます。</p> <p>以上で、第3次評価の説明を終わります。</p>
片山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>アドバイザーの委員から御助言、御意見等がありましたらお願いします。</p>
若林委員	<p>アンケートの回収率や、何人ぐらいを対象にアンケートしたのかなど、いわゆるアンケートの方法についての説明があれば良かったかなと思います。基本的に実情をきちんと計画に反映しているという確証が欲しいと思います。</p>
好岡課長補佐	<p>調査の配布数と回収率ですが、総計で1,394名に配布し、1,182名から回収しています。回収率は84.8%です。</p>

	<p>各世代ですが、幼稚園、保育園児、小学校低学年児童については回収率が79.9%、小学校中高学年児童については96.5%、高齢者は72.1%でした。</p>
片山会長	<p>今のこの評価を見て、何か気になることや、聞いておきたいこと、あるいは御意見等はないでしょうか</p>
竹田委員	<p>最初から第3次計画まで関わってきたのですが、少し今、中だるみのような感じになっているのではないかと思います。最初の頃の第1次、第2次計画の時は勢いが良かったし、活発だったように思うのですが、第3次計画になって全体的に見ると数値が下がっているので、第4次計画はもう少し拍車を掛けて、やる気にならないといけないと思います。せっかく良い協議会なので、これを発展させるために皆で頑張らないといけないと思います。</p>
片山会長	<p>ありがとうございました。貴重な御意見です。 ほかにないでしょうか。</p>
影山委員	<p>評価について少しお伺いします。達成したものと改善したものをまとめてA評価という形になっていますが、目標を掲げている以上、達成したものは達成したもの、改善したものは改善したもの、現状維持は現状維持という感じで分けて、目標達成できたものは、別枠で考えると良いのではないのでしょうか。評価の項目もAからCだけではなくて、Dなどにしても良いのではないのでしょうか。</p>
好岡課長補佐	<p>今後計画策定するときに、その辺りを含めて、評価の判定の仕方について再度検討したいと思います。</p>
片山会長	<p>その他、御意見はないですか。</p>
木原委員	<p>表の説明の冒頭に、(13)の評価をAに訂正と言われて、まじまじと見ましたが、例えば、4.3ポイントの増ということで、評価基準として、プラス5ポイント以上がAということになっているのであれば、Bのままで良いのかなと理解をすること、それならば(1)の高校生もAではなく、Bになるのではないかという理解なのですが、その点を教えてください。</p>

好岡課長補佐	<p>先ほど、宇和島保健所の影山委員からも指摘があったのですが、目標が達成したものと改善したものをAという判定にしていたので、その辺りについては、今後、御意見を基に訂正したいと思います。</p>
間々田委員	<p>このアンケート結果について、産業部会で検討した時に出された意見として、愛南町産を意識して購入する人の割合は、魚と野菜を分けた方が良いだろうという意見がありました。</p> <p>御承知のとおり、愛南町では、水産業というのは非常に主産業にありまして、いろいろ手に入りやすい状況があります。一方で、農業はそこまで盛んな地域ではないと認識しています。例えば、学校給食の地場産物の使用割合にも非常に関連するところですが、私の考え方としては、使える物は使う、買える物は買うというように、無理する必要はないと認識しています。</p> <p>町民の方にアンケート調査をするときには、答える側が共通した認識を持って回答できることが非常に重要な根底にあります。アンケート調査は、回答する方のゆらぎがあっては良くないという面がありますので、このアンケートを受け取った人が全て同じ認識で回答できるということを前提とした調査項目の選定が必要だと思えます。</p>
森岡委員	<p>前回の会で、若林委員が、海産物はたくさんあるけど、地域で作っている山の物が無いと言われたことがありました。山には、特にジビエが愛南町の特産と言えるし、それ以外にもタケノコ、ハチク、ツワナ、イタドリなどたくさんあります。地域で、山や畑で採れる物を表に出して、地域のおばあちゃんたちが作っている物も出していただけたらと思います。</p>
片山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それも含めて、事務局にお願いします。</p>
好岡課長補佐	<p>先ほどの評価指標の目標値等については、第4次計画を策定していく中で、協働部会等で検討したいと思っています。アドバイザーの先生方やいろいろな方の意見を頂きながら進めたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
竹田委員	<p>愛南町は、水産だけではなく、農業の野菜もあると感じていま</p>

	<p>す。スーパーがもっと地元の野菜や魚を供給してくれるようになれば良いと思います。</p>
<p>片山会長</p>	<p>ありがとうございます。では、間々田委員、お願いします。</p>
<p>間々田委員</p>	<p>竹田委員の御意見の一つの例として、資料2のアンケート結果の愛南町の物を買わない理由に、「よく行く店で売っていない」という回答が4割あります。野菜等は緑新鮮市等の直売所で買われると聞いています。</p> <p>欲しい時に愛南町産がないという回答もありますが、これは、魚は手に入るけど、野菜は季節によって手に入らないことがあると考えられます。地元の物が出た時に積極的に買うという姿勢が重要なのかなと思われます。</p>
<p>片山会長</p>	<p>ありがとうございました。では若林委員、お願いします。</p>
<p>若林委員</p>	<p>総じて、皆さんのおっしゃるとおりです。議論を聞いていて思ったことが二つあります。</p> <p>一つは、愛南町の場合、地域の新鮮な水産物だけではなく、農林水産物も非常に多様性があるということは、産業部会できちんと整理をしてもらえると良いと思いました。</p> <p>もう一つは評価のところですが、ABCに分けていますが、今の話のとおり、例えば、それぞれの数値の絶対値であったり、相対値やいろいろな整理の仕方がありますので、評価についてはもう一度考え直すと良いと思います。</p> <p>全体の総括としては、竹田委員の御指摘のとおり、この評価を見ると、少し間延びというか小休止、小康状態になっているので、第4次計画のところ、継続するものはしっかり継続し、バージョンアップして高めていくことと、新たに追加されたものは積極的に取り組むという、新規性と継続性をきちんと含んだ形の第4次計画を進めていく必要があると思います。</p>
<p>片山会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>そのほかに委員の皆様から御意見はないでしょうか</p>
<p>蓮本委員</p>	<p>評価項目の中の愛南町産の物というのは、魚や野菜ですか。みそやしょう油は、この中には入っていないのですか。</p> <p>私は添加物の方が気になるのですが、場違いな発言だったら</p>

好岡課長補佐	<p>すみませんが、お聞きしたいです。</p> <p>すいません、愛南町産物に関しては、学校給食センターからデータを頂いています。そこの部分を再度確認してから回答させていただきます。</p>
片山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>後日回答という形でお願いします。</p> <p>それでは、次の協議事項に進みます。</p> <p>続いて(4)第4次食育推進計画の方向性について検討していただきます。この項目は、当初から食育推進計画策定に関わっていただいたアドバイザーの若林先生に進めていただきたいと思います。では、若林先生お願いします。</p>
若林委員	<p>この協議会の皆様に、いろいろな御意見をできるだけお伺いしたいと思っています。</p> <p>木原副町長の最初の御挨拶にもありましたが、愛南食育プランの第1次から第3次まで、今年で15年間取り組んできています。これから5年間取り組んでいくとなると、合計20年になります。今後、どういう風にしていけば良いか、皆さんと議論をさせていただきたいと思います。</p> <p>細かい話もとても大事ですし、大きな、そもそもという話もあって結構ですので、いろいろな賛同、批判等御意見を是非お願いします。</p> <p>第4次食育推進計画の作成についてということでスケジュール表があります。これについて事務局から簡単に説明します。</p>
好岡課長補佐	<p>(第4次食育推進計画の今後のスケジュールについて説明)</p>
若林委員	<p>それでは、事務局から第4次計画の基本方針と取組目標について説明をお願いします。</p>
好岡課長補佐	<p>(第4次食育推進計画の目指す食育推進の方向性について説明)</p> <p>基本方針は、次のとおりです。</p> <p>(1)つづける食育の取組目標として、「非常時への食に関する力をつける」を追加しています。</p> <p>(3)はぐくむ食育の取組目標として、「誰かと食事を楽しむ</p>

	<p>(共食)」を(4)いただきます食育から変更しています。</p> <p>(4)いただきます食育の取組目標として、「食品ロス」を追加しています。</p> <p>(5)つながる食育から、「みつける食育」へ変更します。</p> <p>(6)ひろがる食育から、「ひろげる食育」へ変更します。</p> <p>以上です。</p> <p>重点目標として、からだづくり、ひとづくり、まちづくりは、継続していきます。</p> <p>基本理念は、「みんなで取り組む愛南の食育！～健やかな心とからだ地域力で豊かな人間形成を目指す～」です。</p> <p>ひとづくりの意味を込めて、「豊かな人間形成を目指す」を追加しています。</p>
間々田委員	<p>「つながる食育」から、「みつける食育」とした理由については、食育についての知識や経験を深めるだけではなく、地場産物を積極的に利用するということはもちろん、愛南町の地域の良さを見つけるということで、「みつける食育」としました。</p>
竹田委員	<p>継続性という守るべきところは守り、新規性という攻めるべきところは攻めるという、メリハリのある、愛南町ならではの、バージョンアップした実効性のある計画づくりができれば良いと考えています。</p>
濱見委員	<p>学力と生活習慣の相関関係があるというデータがあり、早寝早起き朝ご飯といった、きちんとした習慣で体を整えることが子供たちにとって一番良いと思います。</p>
若林委員	<p>愛南町は、やはり地域力だと思います。今回、いろいろ御意見いただきましたが、やはり一人一人の意見がすごく参考になりましたし、これから有事に向けて、これをスタッフがするわけではなく、皆でしないと良くなりません。中だるみという言葉も出ましたが、このコロナ禍で、皆さんよく頑張ってきました。</p> <p>いろいろな意味で発信する方法など、細かなところはあると思いますが、愛南町の良さを生かしながら、第4次計画を、よりバージョンアップした内容で、皆さんの意見を反映した計画にできたらと思いますので、今後ともよろしくお願いします。</p>
片山会長	<p>長時間にわたって御協議ありがとうございました。</p>

	<p>それでは最後に、(5)その他食育について御意見、御質問等ないでしょうか。</p> <p>それでは、御意見等ないようですので、協議を終了します。</p>
中川課長	<p>熱心な協議をありがとうございました。</p> <p>頂いた御意見を基に各部会で作業を進めていきたいと思います。</p> <p>閉会に当たって、片山会長から御挨拶を申し上げます。</p>
片山会長	<p>(閉会挨拶)</p>
中川課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほど、今後のスケジュールのところでもお伝えしたとおり、今年度は計画策定のために、この協議会は後2回予定しています。</p> <p>第2回の協議会は、9月25日に開催します。後日改めて御案内しますので、御協力をお願いします。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第1回愛南町食育推進協議会を閉会します。</p>